

第2回関関同立学力判定模試個人成績表の見方

予備校 エール学園

この度は第2回関関同立学力判定模試を受験していただき、誠にありがとうございます。本模試の個人成績表は3枚に分かれております。

1枚目は**第2回関関同立学力判定模試の成績と各大学の科目配点調整後の判定**

2枚目は**科目分野別得点**

3枚目(緑色)は**各大学の出題傾向からみた関関同立学部グループ別判定**

1枚目の成績表は全ての科目の中央値補正を行い、関関同立産近甲龍の大学ごとの科目配点より再計算したのち、受験者全体からみた判定を行いました。つまり、全体の学力からみた判定となります。

2枚目は科目別分野別に弱点分野、得意分野を把握していただく資料です。レーダーチャートで表しています。

3枚目は各大学の出題傾向からみた関関同立学部グループ別判定です。

これは、**3教科受験された方で、模試受験時に個人カードの大学判定希望調査において、判定希望欄にチェックを入れた部分のみ判定しています。**1枚目と異なる点は各大学の出題傾向を考慮し、**大学学部グループ別に全設問の配点を変更して再計算していること**です。そして、選択科目のみ中央値補正をしています。つまり、1枚目の成績表と判定が変わるということも起こり得ます。受験生の学力バランスがどの大学に合っているかを判断していただくのに適している資料となります。文系学部の総合判定は複数学部の中の判定下限学部に合わせていますので、志望学部の学部別判定基準をみて判断してください。

また、**第1回関関同立学力判定模試を同じ受験番号で受験されていた場合は、下段に基礎部分の伸び率を表示しています。**第1回と第2回の同じ分野の基礎部分の得点率を比較し、伸び率を計算しています。選択科目はほとんど同じ分野がありませんので、基礎部分全体の比較を参照してください。ここで注意していただきたいのは、第1回と第2回では基礎部分といっても実施時期が違いますので第1回より第2回のほうがやや難しくなっています。したがって、伸び率が100%を切っているからといって悲観することはありません。少し下がっている程度でしたら十分頑張っているといえます。それが100%を超えていれば、たとえ思うような総合判定が出なかったからといって成果が現れていないわけではありません。

他の模擬試験では見られないこの判定結果を、今後の学習に役立てていただければ幸いです。